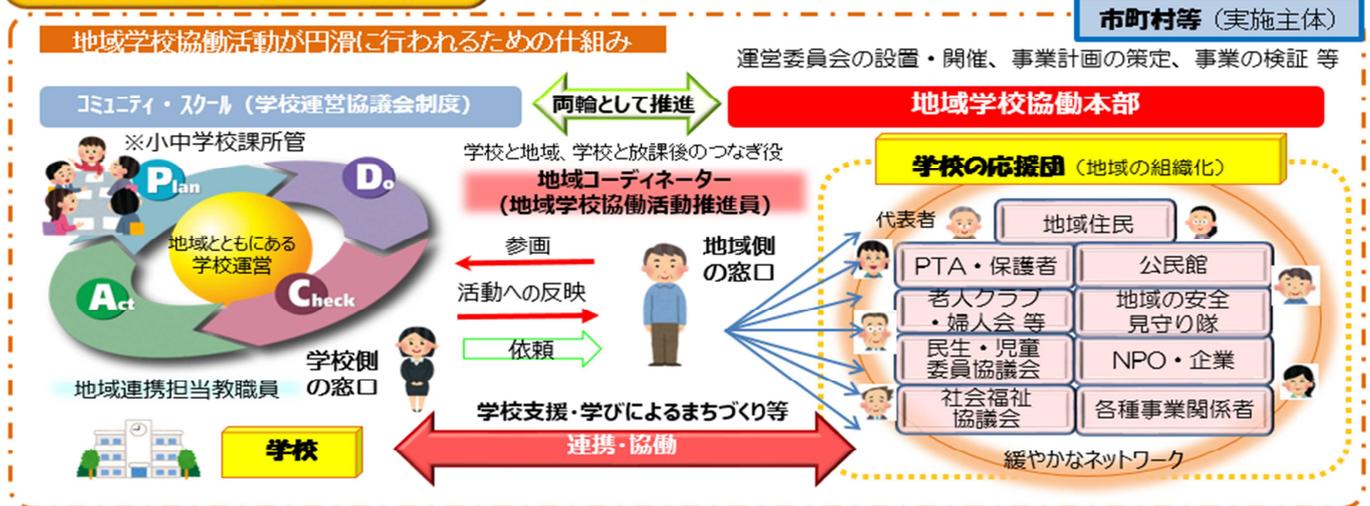


4 地域との連携を通じた取組

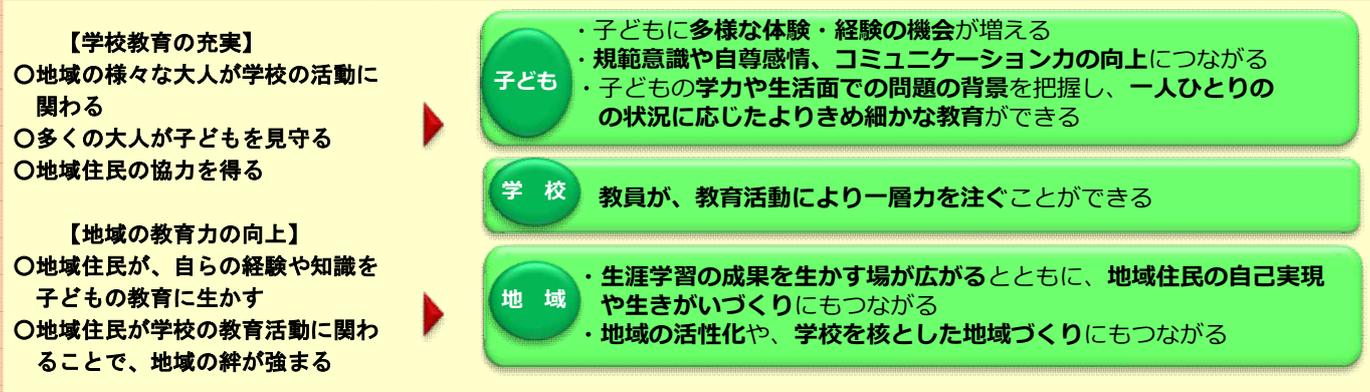
本県では、家庭・地域・学校が一体となり、地域ぐるみで子どもを見守り育てる仕組みである地域学校協働本部の設置促進を進めています。また、地域とともにある学校づくりを推進するため、保護者や地域住民等が学校運営に参画する取組の一つであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）についての周知・啓発を行っています。

本プログラム第2章の地域用研修プログラムで示したように、地域と学校の連携により、地域の大人と関わりをもつことで様々な体験の場が増え、子どもの自尊感情の向上や地域に見守られているという安心感につながることを期待されます。また、子どもだけでなく、活動に参画する地域住民の生きがいづくりや地域の活性化につながることも期待されます。コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の取組例を参考にしながら、学校独自の地域と連携した取組を実践していきましょう。

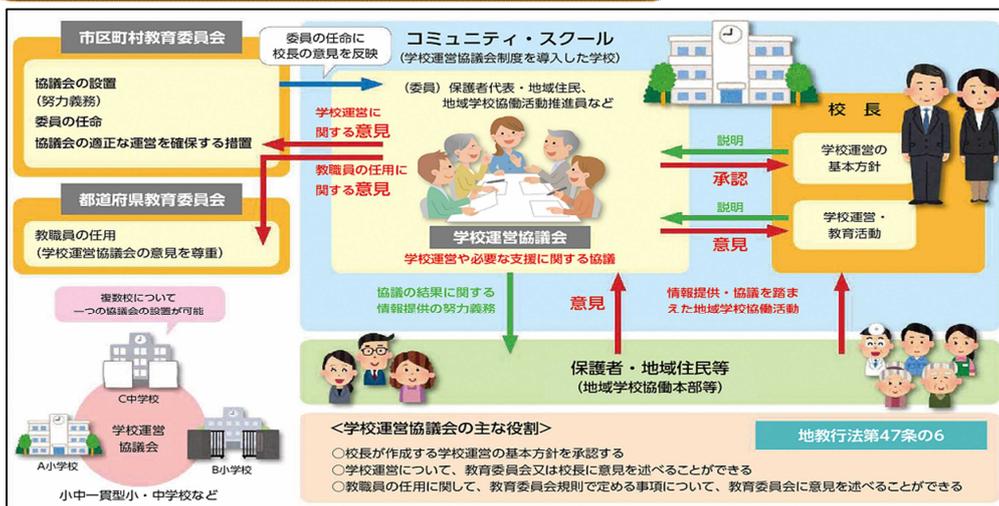
地域学校協働本部の組織モデル



地域学校協働本部の取組により期待される効果



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組み



コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の効果

- ～導入した学校・地域から～
- 地域の方たちに相談したり、支援したりしてもらえる
 - 自分が役に立っているという実感が持てる
 - 学校や地域とともに生きるという実感がもてる
 - 学校がどのように進んでいるかわかる
 - 協議会の中で出されたことに対して何ができるか考えることができる

地域との連携を通じた取組例①

野市東小学校地域学校協働本部（香南市）

■基本データ（平成29年度）

- 対象学校名 : 野市東小学校（全校児童数 265 名）
- 設置年度 : 平成 28 年度
- 協議会
名称 : 学校支援地域本部事業運営委員会（年 3 回開催）
委員数 : 11 名
委員構成 : 学識経験者(1)、PTA会長(1)、学校代表(3)、地域コーディネーター(1)、
民生・児童委員(3)、行政関係者・教委担当(2)
- コーディネーター : 1 名（主任児童委員）
- ボランティア登録者数 : 42 名（年間延べ人数 598 名）
- 地域連携担当教職員 : 有
- 支援日数 : 年間 161 日
- 民生・児童委員の参画 : 9 名（校区内民生・児童委員 9 名）



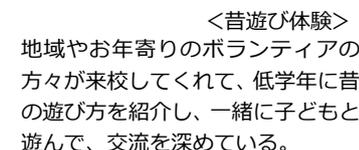
■主な支援内容

- 学習支援（137日）
 - ・朝の学習丸付け支援（100日）
週4日（1日あたり15分）
1学期1～2年生、2学期以降1～6年生
 - ・授業補助（37日）
5、6年生の家庭科学習補助
- 地域活動（5日）
 - ・地域クリーンアップ作戦
 - ・昔遊び
 - ・地域学習等
- クラブ活動支援（8日）
 - ・クラブ活動の補助
- 学校周辺環境整備（3日）
 - ・愛校作業、グラウンド整備（草刈り）
- 登下校安全指導・学校行事支援等（8日）
 - ・1年生とのふれあい下校
 - ・遠足や持久走大会等の安全管理・交通指導



＜朝の読み聞かせ＞

のいち子ども図書館クラブの方を中心に、保護者や地域の方が、朝の時間帯に本の読み聞かせを行ってくれている。



＜昔遊び体験＞

地域やお年寄りのボランティアの方々が来校してくれて、低学年に昔の遊び方を紹介し、一緒に子どもと遊んで、交流を深めている。



＜朝の学習の予定表と名札＞

朝の学習丸付けに来てくださる方の名札やマグネットを用意し、都合のよい日を自分自身で選択して予定表に貼るようなボードを準備した。



＜草刈り作業＞



＜ふれあい下校＞



＜地域クリーンアップ＞



＜朝の学習丸付け＞

■活動を支える人材の確保

【地域コーディネーター】

活動に関する打ち合わせを学校と行うほか、地域や関係機関との橋渡し役となり、活動に関する周知や活動に参画いただける地域住民の募集等を中心に活動している。また、スタッフとしても、朝の学習丸付けや読み聞かせ活動、家庭科学習補助にも参加している。

【ボランティア】

民生・児童委員さんを中心に、地域の方も参加してくれており、保護者の中からも協力していただける方が増えてきた。活動に参加していただく中で、地域の同土や、保護者同土、地域の方と保護者の交流へとつながり、子育ての悩みについて話す機会も多くなってきた。

地域との連携を通じた取組例②

物部地域学校協働本部（香美市）

■ 基本データ（平成29年度）



- 対象園・学校名 : 大柵保育園（全園児数17名）
大柵小学校（全校児童数49名）
大柵中学校（全校生徒数24名）
- 設置年度 : 平成25年度
- 協議会
名称 : 物部地域学校協働本部（物部っ子を育てる会）
委員数 : 55名
委員構成 : 小中校長・小中教頭・小中コミュニティー担当・大柵保育園長・主任保育士・小中地域コーディネーター・市教育委員会物部分室長・市役所物部支所長・教育委員・民生・児童委員物部地区会長・主任児童委員・PTA・大柵保育園保護者会代表・社会福祉協議会・物部町自治会会長・副会長・消防団物部方面隊長・学校関係評価委員・子ども会連合会・物部森林組合長・大柵駐在所長・JA物部支所長・食生活改善推進協議会物部支部長・物部婦人会会長・市商工会物部地区長・塩の道保存会会長・物部地区公民館長・大柵郵便局長・四国銀行大柵代理店支店長・地域代表の方々
- コーディネーター等 : 地域コーディネーター 小中各1名、学習支援員 5名、
教育活動サポーター 80~100名程度
- ボランティア登録者数 : 120名（年間延べ2000名）
- 地域連携担当教職員 : 有
- 支援日数 : 大柵保育園 20日、大柵小学校 年間148日、
大柵中学校 年間196日
- 民生・児童委員の参画 : 3名（※その他校区内民生・児童委員25名の協力体制あり）



■ 主な支援内容

【学校行事支援】

- 火鎮祭相撲練習
- 湖水祭（踊り、灯籠づくり、会場設営）
- 合同運動会（地域種目、食堂、テント）
- 物部っ子祭り（展示、即売、食堂支援）

【学習活動支援】

- 読み聞かせ（毎月小学校2回、中学校1回）
- 学習支援：週1日（小中各約1時間/日）
- 昔遊びの指導、地域学習の講師、授業支援
- 郷土料理活動（準備、指導、片付け）
- 保小中合同講演会

【環境整備支援】

- 塩の道体験活動支援、防災学習支援
- プール清掃、愛校作業、道草刈り

【安全パトロール支援】

- 登下校の見守り、マラソン大会街頭指導



＜湖水祭り＞

物部の大きな夏祭りである「湖水祭り」では保小中が一緒に「踊り・灯籠作成」等に取り組んでいる。中学生は当日の販売活動にも参画し、地域貢献活動として定着している。



＜物部っ子祭り＞

物部の良さを町内外の方々に伝えるための発表会や、大柵商店街を拠点として、展示・即売を行っている。地域との協働で、元気の「物部の町づくり」を行っている。



＜郷土料理づくり＞



＜地域清掃＞

■ 活動を支える人材の確保

【地域コーディネーター】

地域の行事・地域住民を知り、学校のために動いてくれる行動力のある方に学校がお願いし、年度末には、継続を依頼している。学校行事の時以外にも定期的に学校に足を運び、要請に応じて学校と地域の橋渡し役をしていただいております、大変助かっています。

【ボランティア委員】

地域の子どもをよく知り、読み聞かせや学習支援、また地域で活躍していて、郷土料理教室等で関わってくださっている方を、いろんな方々に紹介していただき、ボランティア名簿に登録する等、幅広い人材の確保に努めている。